

## 新潟市地球温暖化対策実行計画(地域推進版)策定に向けたアイデア・意見 募集結果

No.	アイデア・意見	対象	分野	内容	計画(案)の関連箇所
1	省エネ・低炭素活動認定制度	事業者(大企業・中小企業・個人事業主)	省エネルギー・低炭素型交通・気候変動への適応	新潟市が事業者の省エネ・低炭素活動を認定する制度を設け、事業者は取り組んでいる省エネ、低炭素活動を申告し、新潟市が認定することで、認定された事業者は認定事業者として、PR等に活用できる仕組み。 (中小企業・個人事業主が気軽に申請できるよう、ノーマイカーデーの設定、社用車へのハイブリッドカーの導入、省エネ機器への設備更新など、何かしら取り組んでいけば認定されるように認定のハードルは低く設定する。)	3-3 モビリティの低炭素シフト (1)低燃費車や次世代自動車の普及拡大 4-1 低炭素社会への人づくり (4)環境に配慮した事業活動の推進
2	パークアンドライドの推進	市民(若年層・子育て世代・働き盛り・年配者) 事業者(大企業・中小企業)	省エネルギー・低炭素型交通	・市内の新潟駅前・万代・古町等中心部や大型商業施設の近郊、かつバス路線の付近に市営の駐車場を整備し、市民が郊外から市内中心部等へ移動する際に利用してもらう。 ・具体的には自宅から駐車場までをマイカーで移動し、マイカーを駐車場に止めたのち、バスにて市内中心部等へ乗り入れる。 ・パークアンドライドは、現在江南区の亀田駅等でも実施されているようだが、バスとの連携が図ればより市民への浸透が期待できる。 ・(課題)駐車場用地の確保、バス運行本数の向上、運営費	3-2 公共交通と自転車・徒歩利用の促進 (1)都心アクセスの強化と都心部での移動円滑化
3	省エネ家電について、具体的な買い替えて採算面とCO2削減量を試算し提示する	市民(子育て世代・働き盛り・年配者)	省エネルギー	エアコン、冷蔵庫等の買い替えメリットが高い家電製品について、具体例を提示する。例えば、製造年、消費電力、COPなどの仕様と現状の代替品(消費電力、参考価格(広告等に記載されている販売価格)と交換費用)を対比し、年間消費電力と回収年および年間CO2削減量を試算し情報提供する。廃棄についての問い合わせ窓口(基本的には家電量販店だが、家族構成の変動で不要になった場合の集約による廃棄もある。不要な冷蔵庫をなんとか使い続けるのを防ぐ。)を記載する。	4-1 低炭素社会への人づくり (1)社会における環境学習の推進
4	エコクッキング授業の開催	市民(子ども・学校・中高生・子育て世代)	省エネルギー・廃棄物の削減・気候変動への適応	新潟市内小・中学校でのエコクッキング授業の開催 (授業参観、学年行事などで取り上げ、親からも興味を持ってもらう)	4-1 低炭素社会への人づくり (2)学校における環境教育の推進
5	小学校での省エネ・低炭素行動週間の設定	市民(子ども・学校・中高生・子育て世代)	省エネルギー・廃棄物の削減・気候変動への適応	小学校で省エネ・低炭素行動週間を年に数回設定し、省エネ・低炭素行動を点数化し、目標点数までの到達を目指す。 (メディアコントロール週間や、早寝早起き朝ごはん週間等、目標を設定して、1週間の努力結果を報告する。)	4-1 低炭素社会への人づくり (2)学校における環境教育の推進
6	○環境配慮型入札の適用拡大 ○入札参加資格要件に環境配慮行動の具体的取組を追加	事業者(大企業・中小企業・個人事業主)	省エネルギー・再生可能エネルギー導入促進・地域資源の活用・低炭素型交通・廃棄物の削減・気候変動への適応	例) 環境配慮行動について基準点数以上の要件を満たすことを求める。省エネの取組1~20点、再生可能エネの導入1~20点 地域資源の活用1~10点、低炭素型交通1~10点、廃棄物の削減1~10点、気候変動への適応1~10点、その他1~20点 100点満点で50点以上を満たさないと入札参加要件をクリアしない。	4-4 市の率先行動の推進 (2)環境に配慮した事業者選定の推進